

学びのR

No. 1 O (平成30年12月)
 埼玉県教育局南部教育事務所
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「Reform (改革)」の頭文字です

* ワークショップ型研修で授業改善 ⑤ *

ワークショップ型研修 その5 「概念化シート」

* 概念化シートとは、気づきを構造化してとらえ、整理していくために用いる振り返りのためのワークシートです。シートを、縦横2軸によって4象限に仕切ります。

- ◇縦軸：「プラス面（よかった点、参考になった点等）」、「マイナス面（課題・改善すべき点等）」
- ◇横軸：「教師」と「児童生徒」、または「個人」と「全体（学級や学校など）」など。

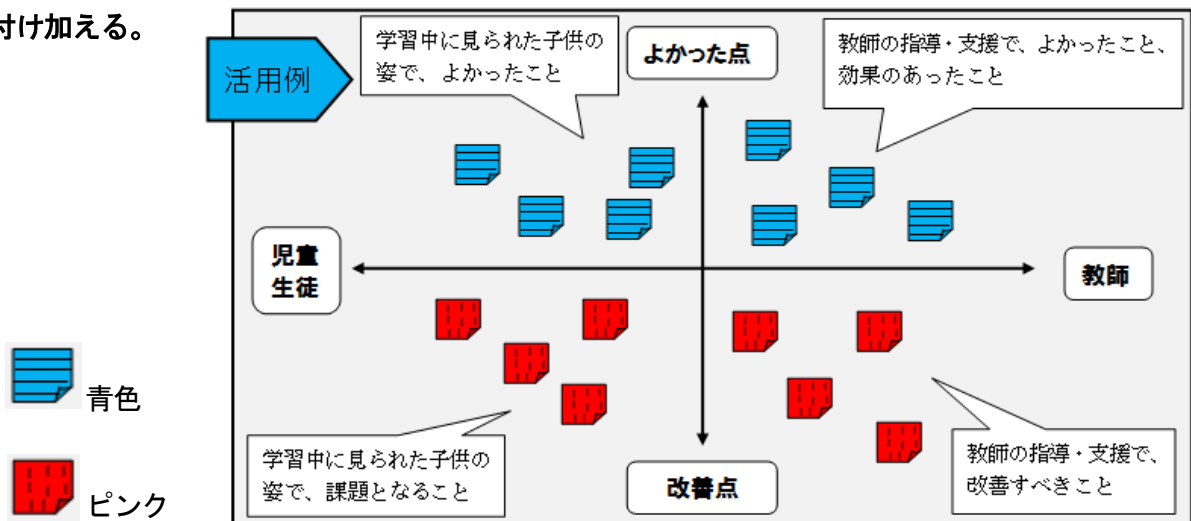
↓
 予め協議の視点を定めておき、その視点に集中して成果と課題を協議したい場合に適しています。

概念化シート活用のメリット

- ① 自らの気づきを内省し、それを概念化することで、様々な気づきの本質を構造化して捉え直すことができます。それを基に、課題や解決のための方向性を見だし、気づきから学び、さらに今後の課題や目標までもグループ内で共有することができます。
- ② グループで付箋の内容を吟味することで、仲間の思いや願いを知ったり、お互いの関わりから学び合ったりするなどの相互作用があります。さらには、これまでの自分やグループの変容を自覚したり、これまでの学びを再構成したりするといった連続性を考慮しながら進めることで、より一層深い学びが見出されます。

研修の進め方

- 1 授業について色別の付箋に記入する。（各自）（1枚の付箋に1つの内容を書く。）
 - 青色の付箋 → よかった点・参考になった点等を記入する。
 - ピンクの付箋 → 課題・改善すべき点を記入する。
- 2 概念化シートに付箋を貼っていく。（グループ）
 - よかった点から、一人ずつ考えを述べながら付箋を貼る。その際、類似する意見は、その都度、付け加える。

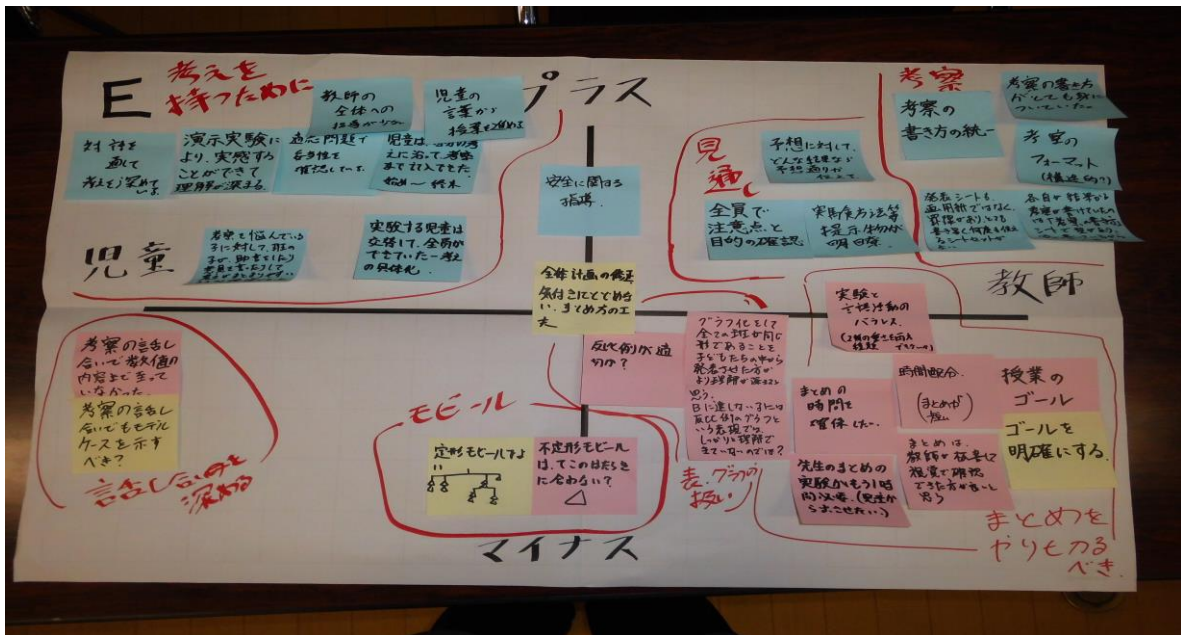


3 構造化する。(グループ)

- 似た内容ごとに小見出しを付ける。線でつないだり、囲んだりして関連させることで内容を整理・分析する。



概念化シートを用いて協議するときは、気づきの構造化、概念化を図るこの段階が重要です。



4 各グループから発表する。

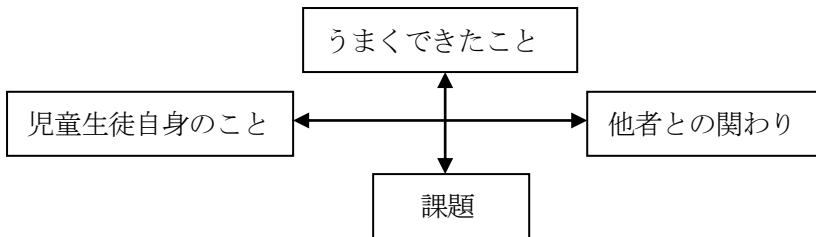
- グループの発表を聞き合い、全体で共有する。
- ☆ プラス要素として挙げられたことを強みとしながら、課題として挙げられたことを、校内研究のテーマ等につなげていく。



Q1 教科の授業研究以外の研修には活用できないの？

A1 特別支援教育での活用も考えられます。

<個の児童生徒に対して、概念化シートを使う例>



みんなで実施することで、担任が気づきやすくなる。

(例) 5月はピンクの付箋が多い。

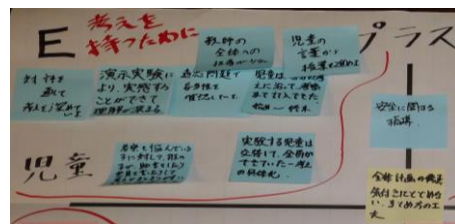
7月は青色の付箋が増える。

児童生徒の変容が見える。



Q2 研修で作成した模造紙の活用方法は？

A2 子供の姿のよい点に関しては作成した模造紙を切り取り、そのまま教室掲示をする。子供にとって、何がよい姿だったのかを再認識でき、子供たちが努力したことへの励みとなります。



「学びのR」はこちらからも御覧いただけます！



引用・参考文献 『『ワークショップ型研修の手引き』(村川雅弘・編 (株) ジャストシステム)』
『『ワークショップ型校内研修』で学校が変わる 学校を変える (村川雅弘・編 教育開発研究所)』
『高知県宿毛市教育研究所『所報すくも』(H27. No. 3)』